

本学初！

女子学生のためのキャリア支援セミナーを開催

横浜市立大学では、本学初の女子学生対象キャリア支援セミナーとして「考えよう！“私らしい”働き方」を開催します。これは、横浜市が中期計画において「あらゆる人が力を発揮できるまちづくり」として女性の活躍支援を掲げていることを受け、就職活動において自分らしい企業・職種選択ができるよう支援をするものです。

本セミナーでは、本学の女子学生を対象とし、就職活動が本格化する前に、総合職・一般職等といった職種や、雇用形態の違いなど、多様な女性の働き方を知ることで、自身のライフプランをイメージしながら今後のキャリアを考えるきっかけとします。

■女子学生限定「考えよう！“私らしい”働き方」開催概要■



藤田 敦子氏 (ふじた あつこ)

プロフィール：大学訪問スタッフとして株式会社アイデムに入社。現在は、JOBASS 学 Biz 就活キャンパスの企画・運営と、大学キャリアセンターへの学内イベントの提案等、幅広い分野で活躍中。

日 時 : 平成 28 年 10 月 20 日 (木) 18:00~19:00
場 所 : 横浜市立大学 金沢八景キャンパス 第一講堂
(横浜市金沢区瀬戸 22-2)
講 師 : 株式会社アイデム マーケティンググループ
学生コミュニケーションチーム 藤田敦子氏

参加対象：女子学生限定

参加人数：50 名 (予定)

内 容 : 女性としての働き方を知り、ライフプランをたて、
ライフプランに合う働き方を考える。

【参考】国際総合科学部 過去 3 年間の女子学生の就職率

年度	就職率
2016 年 3 月末	99.1 %
2015 年 3 月末	99.4 %
2014 年 3 月末	98.6 %

※就職率：就職者÷就職希望者数

※当日は取材が可能です。ご希望の場合には事前に下記ご連絡先までお願いいたします。

お問い合わせ先

学生・キャリア支援課長 上野 修 Tel 045-787-2090

参考

■YCU 女性活躍支援の取り組み（教育）■

横浜市立大学では、平成 27 年度より、自分の人生プランを見据えたくて、厳しい社会をたくましく生き抜く力を養成するキャリア教育の一環として、総合講義「現代社会とジェンダー」を開設。これは、横浜市が中期計画において「あらゆる人が力を発揮できるまちづくり」として女性の活躍支援を掲げていることを受け、横浜市立大学の女性研究者 5 名（文系、理系、経営系、国際地域研究等）が、分野を越えてチームを組み、より実践的なプログラムを目指し、開設したものです。

「現代社会とジェンダー」概要

◇科目名：『現代社会とジェンダー』 共通教養（総合講義）科目

◇日程：平成 28 年 4 月 11 日～7 月 25 日 月曜 5 限（16:10～17:40） 全 15 回

◇履修者数：横浜市立大学 学部生（国際総合科学部および医学部の主に 1 年生） 299 名

・国際総合科学部 221 名（4 年 7 名、3 年 10 名、2 年 18 名、1 年 186 名）・医学部医学科 78 名（1 年 78 名）

◇担当教員：佐藤響子教授（横浜市立大学 共通教養長/ 国際総合科学群）

◇学習到達目標：社会に存在するジェンダー、セクシュアリティに関する現状を把握する力を養う。

現実の個別具体的な問題に直面したときに、問題のありかを的確に把握し、対処できる力を養う。

◇平成 28 年度前期授業 15 回の内容：

月日	内容・テーマ	講義ポイント	担当教員（所属）
4/11	導入・概論	ジェンダー研究の背景説明、今日の問題（進学、労働、貧困）とジェンダー問題との関連性への意識付けについて	佐藤響子（本学国際総合科学部 国際教養学系 教授）
4/18	心理学とジェンダー	ジェンダー・スキーム、性差観とそこからジェンダー・ステレオタイプが生み出される弊害にかんして	平井美佳（本学同学部 国際教養学系 准教授）
4/25	生物学とジェンダー	生物学的性差とそれに伴い発現する認知の仕方の違い。性差を性差別に還元することの問題点について	佐藤友美（本学同学部 理学系 生命環境 教授）
5/9	ジェンダー論概観	ジェンダーという言葉を獲得することによって世界の見え方がいかに変化するか。格差社会の中でのジェンダー問題について	金井淑子（立正大学元教授）
5/16	クィア・スタディーズ概観	ジェンダー、セクシュアリティにかんする規範に疑いの視点を加えることで見えてくることを考える	岩川ありさ（東京大学・立教大学兼任講師）
5/23	経営学とジェンダー	女性の就業実態と日本企業のシステムの問題点および女性が活躍を促進する政策について	芦澤美智子（本学同学部 経営科学系 准教授）
5/30	企業の取組事例	企業 2 社の働く女性という立場を主軸とした事例紹介	進行：芦澤准教授・横浜銀行・ゆうあいクリニック
6/6	国際法とジェンダー	国際法の枠組みの中で考える日本社会のジェンダーにかんする問題点について	瀬田 真（本学同学部 国際都市学系 准教授）
6/13	行政の取組	男女共同参画に関する行政の取り組みの紹介	横浜市男女共同参画推進課
6/20	少子化対策とジェンダー	学校の保健の授業がはらむ問題を手がかりに少子化対策をジェンダー視点で考える	西山千恵子（関東学院大学 非常勤講師）
6/27	イスラーム地域研究とジェンダー	イスラーム法により正当化される社会規範と女性による現状打破のための闘争について	山崎和美（本学同学部 国際都市学系 准教授）
7/4	ことばとジェンダー	日常の言語使用、メディア報道に潜むジェンダー・イデオロギーとその無意識の受容から生じる問題について	マリイ、クレア（メルボルン大学 准教授）
7/11	労働と法律	労働者が知っておくべき法律の知識と制度について、およびライフ・キャリアという考え方について	戸山 孝（東横学園大学 キャリアセンター課長）
7/18	まとめ	上記 13 回の授業の振り返りと学生が記入したコメントカードへのフィードバック	佐藤響子（本学同学部 国際教養学系 教授）
7/25	特別講演	横浜で活躍する女性リーダーの講話：働くということ	川名薫（横浜市男女共同参画推進協会 理事長）